

マインランド尾去沢

施設管理者 : 株式会社ゴールデン佐渡
施設所在地 : 秋田県鹿角市尾去沢字獅子沢
調査見学時期 : 平成18年11月10日

施設概要

和銅元年(708年)に発見されたと云われる尾去沢鉱山は、金、銀、銅などを採掘した後、1,200年後の昭和53年(1978年)に閉山に至りました。

マインランド尾去沢では、この掘削された坑道(総延長約800m)の一部を観光坑道として整備・公開しています。実際の坑道のこの観光坑道は「鉱山歴史の坑道」と名づけられており、尾去沢鉱山の雄大なスケールと高度な地下資源開発技術、そして鉱山で働いた人々の苦労を遺産とする、生きた産業史の教室となっています。また、900万年前と推定される地殻の断層や亀裂をはじめ、ふだん見ることのできないめずらしい地底の世界に接することができる貴重な体験の場ともなっています。

坑内ではマグシーバー(携帯用説明機)を使用しながら、コース最大の見所である幅2~3m、高さ30mの鉱脈採掘跡を体感できるほか、近代の鉱山労働者を模した人形および当時の採鉱機材、慶長年間(西暦1596~1615年)の尾去西道金山の作業風景等を見ることができます。非常に見応えのある施設でした。



坑道入り口



坑内の状況



マネキン労働者との写真



金山奉行所の再現

マインランド尾去沢

施設管理者 : 株式会社ゴールデン佐渡
施設所在地 : 秋田県鹿角市尾去沢字獅子沢 13-5
調査見学時期 : 平成 4 年 10 月 1 日
施設概要

1200年以上前から金や銅の鉱山として栄えた尾去沢鉱山が閉山された後、その坑道をそのまま利用して鉱山地底博物館としてよみがえらせた施設である。今年で開業10周年を迎えており、リピーター対策など今後の課題もあるが、鉱山の跡地利用を考える関係者の視察も多いとの説明であった。

施設は全長1,700mの坑道をヘッドホンによる説明を聞きながら歩くうちに昔の採掘作業の様子がひしひしと感じられる仕組みになっている。また過去を振り返るばかりでなく、乗物に乗ったまま地底から宇宙への旅を体験できるコスモアドベンチャーという新しい施設も作られている。(GECニュース第38号より抜粋)



尾去沢 参加者全員